

(2) 種類別明細書 (増加資産・全資産用) の記載例

◎今回、初めて申告される方は、全資産を記載してください。

「1=構築物」
「2=機械及び装置」
「3=船舶」
「4=航空機」
「5=車両及び運搬機」
「6=工具、器具及び備品」
の資産の種類に対応する数字を記載してください。

「償却資産申告書」に印字されている所有者コードを記載してください。今回、初めて申告される方は、記載しないでください。

該当する方を○で囲んでください。

当該資産の取得価額を記載してください。
なお、「取得価額」は、償却資産を取得するために通常支出すべき金額(当該償却資産の引取運賃、荷役費、運送保険料、購入手数料、関税、据付費その他当該償却資産を事業の用に供するために直接要した費用を含む。)をいいます。
また、**法人税法又は所得税法の規定による圧縮記帳については、償却資産の評価上認められていませんので、当該圧縮額を含めた実際の取得価額を記載してください。**

「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」により、原則として法人税又は所得税の申告で用いたものと同じ年数を記載してください。ただし、中古資産について見積耐用年数によっている場合等は、その耐用年数を記載してください。

所有者名を記載してください。

3枚のうち、2枚目というようにページ数を記載してください。

当該資産の増加事由を○で囲んでください。
「1=新品取得」
「2=中古品取得」
「3=移動による受入れ」
(同一企業内において資産を移動させた場合は、「摘要」欄に移動前の所在地等を記載してください。)
「4=その他」
(摘要欄に理由を記載してください。)

取得年月が平成20年1月1日以前の資産を、申告もれ・移動等により取得した場合に、その資産の耐用年数が「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」の改正で変更となっているときは、「摘要」欄に増加事由と改正前の耐用年数を記載してください。

令和 6 年度

※ 所有者コード ※

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

種類別明細書 (増加資産・全資産用)

所有者名

〇〇工業株式会社

1枚のうち

1枚目

行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月			取得価額	耐用年数	減価残存率	価額	課税標準の特例		課税標準額	増加事由	摘要	
					年号	年	月					率	コード				
01	1		アスファルト舗装	1	4	30	8	500,000	10	0.0				○			
02	2		コンプレッサー	1	4	19	11	200,000	12	0.0				○		申告もれ	
03	6		パソコン	1	5	5	10	240,000	4	0.0				○			
04	6		エアコン	2	4	15	6	320,000	6	0.0				○		下松市より移動	
05										0.0							
06										0.0							
07										0.0							
08										0.0							
09										0.0							
10										0.0							
11										0.0							
12										0.0							
13										0.0							
14										0.0							
15										0.0							
16										0.0							
17										0.0							
18										0.0							
19										0.0							
20										0.0							
小計				5				1,260,000									

記載不要

網掛け部分は記載しないでください。ただし、電算処理により全資産申告を行う事業所は記載を必要とします。

年号の欄は令和が5、平成が4、昭和が3で記載してください。

第二十六号様式別表(提出用)